

概念型探究 授業研究会

2025 11.06 木

授業公開10:50-11:40 研究協議11:50-12:40

知識を「使える力」へ。

「概念型探究って何?」「概念型探究で授業はどう変わるの?」「概念型探究のメリットは?デメリットは?」概念型探究は、事実の理解から概念的思考へと生徒を導く授業アプローチです。次期学習指導要領が求める「中核的な概念等」を、生徒が実際の場面で活用できる「生きて働く確かな知識」として習得させます。本研究会では、知識を概念的理解へと深め、複雑な現代社会に立ち向かう力を育む授業設計について議論します。少しでも興味のある方、ぜひ一緒に概念型探究の可能性を広げていきませんか。



【授業者】江角 紀行

【クラス・場所】2C・AL推進教室

【主題】工業が発展する場所の秘密を探ろう

【授業概要】

7 地方区分の中で最も工業生産額が高い中部地方。そこを舞台に三つの異なる事例を取り上げ、生徒に工業の発展の理由について、主に「立地」「集積」の視点から追究し比較・関連付けさせることで、概念的理解を目指します。

また、概念的理解の発展、深化のために、実際の活用場面を設定し、理解の転移を促します。このような方略を通して、生徒に「社会の仕組みがわかる」、「学びが使える」喜びを実感させ、ウェルビーイングを高めます。

【問合せ先】 愛媛大学教育学部附属中学校 研究部長 真木 大輔

Tel 089-913-7841 (代表) Mail maki.daisuke.xd@ehime-u.ac.jp

- 右記QRコードを読み取り、必要事項をご入力の上、11月05日（水）までにお申込みください。
- ご来校の際は、教員玄関前受付の出席確認表へのご記入をお願いします。
- ご都合に合わせて途中入場・途中退出可能です。
- 駐車場をご用意しております。運動場の駐車スペースにご駐車ください。

お申込み先

